

Kenko



ケンコー
デジタルムービーカメラ

VS-FUN IR

取扱説明書

このたびはデジタルムービーカメラ「VS-FUN IR」をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。また、取扱説明書は必ず大切に保管しておいてください。



Kenko

**ケンコー
デジタルムービーカメラ**

VS-FUN IR

取扱説明書

このたびはデジタルムービーカメラ「VS-FUN IR」をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。また、取扱説明書は必ず大切に保管しておいてください。



目次

はじめに	06
------	----

安全上のご注意	07
---------	----

カメラの紹介	09
--------	----

セット内容	09
-------	----

各部の名称	10
-------	----

ご使用前に	12
-------	----

電池の装着	12
-------	----

アルカリ乾電池に関する安全上の注意	13
-------------------	----

microSD / SDHCメモリカードを使用する場合	14
-----------------------------	----

microSD / SDHCメモリカードを装着する	14
---------------------------	----

microSD / SDHCメモリカードを使用する前に	15
-----------------------------	----

ファイル名 / ディレクトリ名を変更しない	15
-----------------------	----

microSD / SDHCメモリカードのフォーマット	16
-----------------------------	----

電源のオン / オフ	17
------------	----

日付と時刻の設定	18
----------	----

言語の設定	19
-------	----

IRカットフィルタの使用	20
--------------	----

モードの変更	21
--------	----

動画モード	22
-------	----

動画の撮影	22
-------	----

撮影距離	22
------	----

LEDライト	23
--------	----

IR LEDライト	23
-----------	----

動画メニュー	24
--------	----

動画サイズ	24
-------	----

ホワイトバランス	25
----------	----

露出補正	26
------	----

色効果	27
-----	----

日付情報	28
------	----

静止画モード	29
--------	----

静止画の撮影	29
--------	----

撮影距離	29
------	----

連写撮影	30
------	----

LEDライト	30
--------	----

IR LEDライト	30
-----------	----

静止画メニュー	31
---------	----

静止画サイズ	31
--------	----

画質	32
----	----

プレビュー	33
-------	----

ホワイトバランス	34
----------	----

露出補正	34
------	----

セルフタイマー	34
---------	----

シーンモード	35
--------	----

色効果	36
-----	----

日付プリント	36
--------	----

ディスプレイ	37
--------	----

フレーム	38
------	----

音声モード	39
-------	----

音声の録音	39
-------	----

再生モード	40
-------	----

動画ファイルの再生	40
-----------	----

静止画ファイルの再生	41
------------	----

再生ズーム	41
-------	----

音声ファイルの再生	42
-----------	----

再生メニュー	43
--------	----

スライドショー	43
---------	----

削除	44
----	----

DPOF	46
------	----

カードにコピー	48
---------	----



目次

サムネイル表示	48	付属のソフトウェア	64
音量	49	Photo Impression 5	64
起動画面	50	Video Impression 2	64
設定モード	51	トラブルシューティング	65
設定メニュー	51	こんなときは	65
言語	51	記録可能時間 / 枚数の目安	66
日付設定	51	動画の記録可能時間	66
自動電源オフ	52	静止画の記録可能枚数	66
電源周波数	53	仕様	67
ピープ音	54	製品仕様	67
TV出力	55	必要システム	68
フォーマット	56	保証規定	69
リセット	56		
起動画面	57		
静止画プリント	58		
プリント	58		
カメラ店等でプリントする場合	58		
プリンタを使用してプリントする場合	58		
テレビとの接続	59		
テレビへ接続する	59		
パソコンとの接続	60		
パソコンへ接続する	60		
転送時のご注意	60		
PCカメラモード	61		
PCカメラモード	61		
マスマストレージモード	62		
マスマストレージモード	62		
付属アプリケーション	63		
ソフトウェアのインストール	63		



はじめに

このたびは、デジタルムービーカメラ「VS-FUN IR」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ございます。

ご使用前に、この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

ご使用前にお読みください。




- 結婚式や旅行など大切な撮影の前には必ず事前にテスト撮影を行ってください。
- 著作権や肖像権などにお気をつけください。撮影を制限されている場所もありますのでお気をつけください。
また、プライバシーを侵害するような撮影は行わないでください。
- 本製品の故障およびその他の理由により生じた画像データの破損、消失による利益損失、損害などに関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用および故障により生じた直接、間接の損害に関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本取扱説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 本取扱説明書の図、写真、パソコンディスプレイの画面などは説明のために作成したものです。あらかじめご了承ください。
- 本製品に付属しているソフトウェアを営利目的として無断でコピーしたり配布することは禁止されています。
- 本取扱説明書の内容の一部もしくは全部を無断で複製することは、個人で楽しめる場合を除き禁止されています。
- 製品改良のため予告なく外観、仕様などを変更することがあります。
- 本取扱説明書に記載のシステム名、商品名および会社名は各社の商標または登録商標です。
- カメラを長時間使用するとカメラ本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。
- 液晶モニタに使用されている液晶パネルは、非常に高精度な技術で作られておりますが、画素欠けや常時点灯があります。
使用部品メーカーの保証値となりますので、あらかじめご了承ください。



安全上のご注意 必ずお読みください

本製品を安全にご使用いただくために、下記の項目をご使用前に必ずお読みになり、正しくお使いください。

本製品を正しくご使用いただき、お使いになる人や他の人々への危害と財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示で説明しています。

 危険	 警告	 注意
この指示に従わないで誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う切迫した危険の発生が想定される内容です。	この指示に従わないで誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	この指示に従わないで誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性または、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

危険

- 可燃ガス、爆発性ガスなどが、大気中に存在する恐れのある場所での本製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。
- 本製品を分解したり、直接ハンダ付けなどの加工および、火中投入などは行わないでください。発熱、発火、破裂の危険があります。
- 本製品を高温の場所(真夏の車内、窓辺、暖房器具のそばなど)で使用、保管しないでください。

警告

- 本製品で太陽または強い光源を見ることは絶対にしないでください。失明など永久視力障害の原因となります。
- 目に深刻な損傷を与える恐れがありますので、近距離(1メートル以内)でLEDライトを発光させないでください。
- 本製品を歩行中、または運転中に絶対使用しないでください。交通事故の原因となります。
- 本製品を足場の悪い環境や、不安定な場所で使用しないでください。事故の原因となります。
- 本製品は防水構造ではありません。水をかけたり、濡らしたりしないでください。
製品内部に水が入ると火災や感電、故障の原因となります。
- カメラに何らかの液体が入った場合、使用を中止してください。電源を切り、お近くの販売店にお問い合わせください。
- 感電の恐れがありますので、濡れた手でカメラを触らないでください。
- カメラの分解や改造は行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。
内部の点検や修理は販売店もしくは当社までご依頼ください。
- 本製品を室外で使用中に落雷の恐れがある場合、すみやかに使用をやめてください。事故の原因となります。



安全上のご注意 必ずお読みください

⚠ 警告

- 小さな付属品を飲み込む恐れがありますので、お子様やペットの手の届く範囲にカメラを放置しないでください。
- ケーブルやストラップが首に巻き付くと窒息の危険があります。お子様の手の届かないところに保管してください。
- ポリ袋(包装用)などを小さなお子様の手が届くところに置かないでください。口にあって窒息の原因になることがあります。

⚠ 注意

- 本製品は精密な電子機器です。以下のような場所で使用したり放置すると火災や感電、故障の原因となることがありますので避けてください。
●砂、ほこり、ちりの多い場所 ●火の近く ●湿ったところ ●振動の激しい場所 ●温度・湿度の変化が激しい場所
- 車内は、温度変化が激しく高温あるいは低温になり振動もありますので使用および保管は避けてください。
- カメラを落としたりぶつけたりして強い振動や衝撃を与えないでください。
- レンズを直射日光に向けて撮影または放置しないでください。集光により内部の部品が破損し、火災などの原因となります。
- 電極部分などには一切触れないでください。感電や故障の原因になります。
- 本製品を保管するとき、上に重い物を載せないでください。故障の原因になります。
- 本製品に付属のケーブルを接続するとき、無理矢理入れたり外したりしないでください。故障の原因になります。
- 付属のCD-ROMはパソコン専用のソフトです。音楽用CDプレイヤーで再生することはしないでください。聴覚障害を引き起こす恐れがあります。
- ストラップを持って振り回さないでください。他人に当たり、けがや事故の原因となることがあります。

その他のご注意

- 電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。
寒冷地で使用するときは、本製品を防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。
低温により性能が低下した電池は、常温に戻ると性能は回復します。
- 撮影条件、使用環境および電池により撮影枚数が減少する場合があります。
- 本製品のレンズや液晶モニタが汚れたとき、市販のクリーニング布で拭き取ってください。
汚れたままですと、鮮明な写真を撮影することができません。

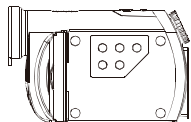


カメラの紹介

📁 セット内容

以下のセット内容が揃っているかどうか、ご確認ください。

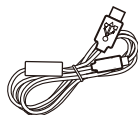
デジタルムービーカメラ本体



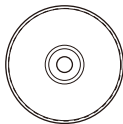
単3形アルカリ乾電池 (2本)



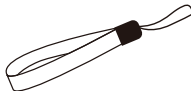
USB-PC接続ケーブル



CD-ROM
(パソコン用のソフトウェア)



ストラップ



IRカットフィルタ



取扱説明書(本書)



TV接続ケーブル

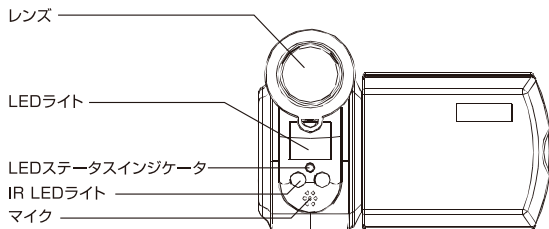




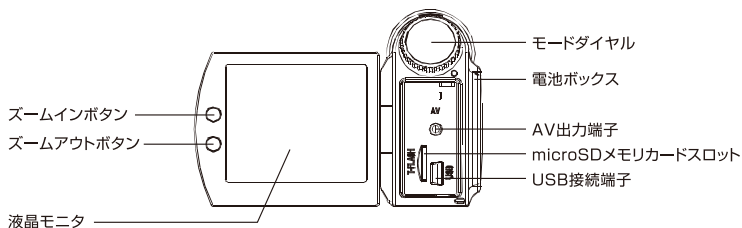
カメラの紹介

各部の名称

前面



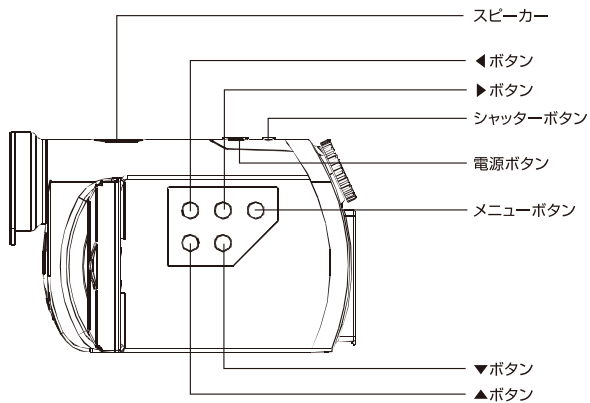
背面





カメラの紹介

側面



ご使用の前に

電池の装着

1. カメラの電源をオフにします。
2. 電池ボックスのカバーを矢印の方向にスライドして開けます。
3. 電池の+側-側を確認し、単3形アルカリ乾電池を正しい方向で装着します。
4. 電池ボックスのカバーを閉めます。



- 電池をカメラ本体から着脱する場合は、必ず電源をオフにした状態で行ってください。
- 電池は+方向に注意し、正しく装着してください。

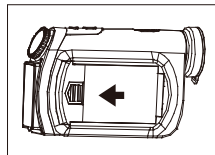


- ◆電池残量については、液晶モニター上のバッテリーアイコンに表示されます。

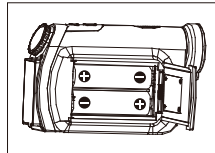
- 電池は満杯です。
- 電池の残量は充分です。
- 電池の残量は半分程度です。
- 電池の残量が少なくなっています。予備を準備してください。
- 電池の残量がありません。電池を交換してください。

- ◆単3形アルカリ乾電池またはニッケル水素充電電池をご使用ください。
ニッケル水素充電電池を使用した場合、電池残量表示が均等に表示されませんのでご注意ください。
- ◆オキシライド乾電池は初期電圧が高く、カメラ本体を破損する恐れがあるため、おすすめできません。
- ◆電池をカメラの中に入れてそのまま長期間カメラを使用しないと、電池が消耗します。
カメラを使用しないときは電池を取り出してください。
- ◆カメラの操作に必要な電力を得ることができないマンガン電池は、使用できません。
- ◆電池は、気温0℃以下または40℃以上では正常に動作しない場合があります。
カメラを長時間使用すると電池およびカメラの本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。

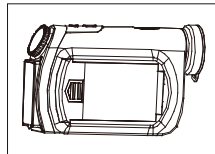
2.



3.



4.





ご使用の前に

ⓧ アルカリ乾電池に関する安全上の注意 (対象：アルカリ乾電池使用カメラ)



警告 付属のアルカリ乾電池をご使用前に必ず、下記の安全上の注意をお読みください。

- ①ショート、分解、加熱、充電、(+)(-)の逆方向の装着をしないでください。使用済みの電池を火に入れるなどしないでください。また、新しい乾電池と使用した乾電池を混用で使用しないでください。使い切った乾電池はすぐにカメラから取り出してください。
- ②カメラは電源が切れていても微弱電流が流れています。長期間(およそ1ヶ月以上)カメラを使用しない場合は、乾電池を取り外して保管してください。
- ③乾電池は乳幼児の手の届かない所に置き、乾電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。乾電池のアルカリ液がもれて、皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断・治療を受けてください。
- ④同梱品の乾電池はサンプルです。使用可能時間が一般的な乾電池に比べて短い場合があります。
- ⑤使用済みの乾電池は、お住まいの自治体が定めた方法で処分してください。

ⓧ リチウムイオン充電電池に関する安全上の注意 (対象：リチウムイオン充電電池使用カメラ)



警告 付属のリチウムイオン充電電池をご使用前に必ず、下記の安全上の注意をお読みください。

- ①初回使用時は、フル充電してください。付属の充電器(ACアダプタ)以外で充電しないでください。
- ②ショート、分解、加熱、(+)(-)の逆方向の装着をしないでください。
- ③液漏れ等の異常が発見された場合、ただちに使用を中止してカメラから取り外し、お買い上げ先等にお申し出ください。電解液が皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診察・治療を受けてください。
- ④リサイクルのお願い



不要になった電池は貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

〈最寄りのリサイクル協力店へ〉

詳細は、社団法人 電池工業会ホームページをご参照ください。

・ホームページ <http://www.bai.or.jp/>

● 使用済み充電式電池の取扱注意事項

- － プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- － 皮覆をはがさないでください。
- － 分解しないでください。



ご使用の前に

microSD / SDHCメモ리카ード(別売)を使用する場合

本製品で撮影した画像は、通常カメラ本体の128MB内蔵メモリに記録されます。microSDメモ리카ード(別売)をカメラ背面のmicroSDメモ리카ードスロットに装着して撮影・録画すると、撮影・録画した画像は自動的にmicroSDメモ리카ードに記録されます。

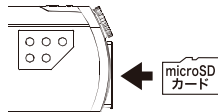


- このカメラに使用できるメモ리카ードの仕様は、microSDメモ리카ード(128MB～2GB)、microSDHCメモ리카ード(2GB～4GBまで)です。その他の種類のカードを使用しますと製品及びカードが故障する可能性があります。
- すべてのmicroSD / SDHCメモ리카ードで動作を保証するものではありません。

microSD / SDHCメモ리카ード(別売)を装着する

microSDメモ리카ードは、カメラ背面にあるmicroSDメモ리카ードスロットに装着します。

1. カメラの電源をオフにします。
2. カメラ背面のカバーを開きます。
3. 挿入する方向を確認してから、microSDメモ리카ードをmicroSDメモ리카ードスロットにカチッと音がするまで押し込みます。(メモ리카ードを取り出すときも、カチッと音がするまで押し込んでから取り出します)
4. カメラ背面のカバーを閉めます。



- ◆新しいメモ리카ードを使用される際は、あらかじめメモ리카ードのフォーマット(P.16参照)をしてください。
- ◆差し込みにくい時は、挿入する方向が間違っている可能性があります。無理に挿入しないでください。



- メモ리카ードをカメラ本体から着脱する場合は、必ずカメラの電源をオフにした状態で行ってください。
- データをパソコンに転送している最中に、メモ리카ードをカメラから引き抜かないでください。撮影した画像データ、メモ리카ードおよびカメラ本体が破損する恐れがあります。



ご使用の前に

microSD / SDHCメモ리카ードを使用する前に



- ◆新品のmicroSDメモ리카ードは使用前に本製品でフォーマット(初期化)してください。
- ◆microSDメモ리카ードを装着すると、カメラはmicroSDメモ리카ードを認識し、内蔵メモリを認識しません。
- ◆この他にも、取り扱いに関する注意事項がP.6～8に記載されていますので必ずよくお読みください。
- ◆下記の注意事項をよくお読みになり、正しい取り扱いを行ってください。
 - パソコンに接続、データ転送中や、撮影 / 再生中にmicroSDメモ리카ードを引き抜かない
パソコンとカメラを接続し、撮影したデータをパソコンに転送している最中や、撮影中または再生中にmicroSDメモ리카ードをカメラから引き抜かないでください。撮影した画像データ、microSDメモ리카ードおよびカメラ本体が破損する恐れがあります。
 - microSDメモ리카ードのフォーマット(初期化)はカメラで
本製品にはmicroSDメモ리카ードをフォーマット(初期化)する機能がついています。
フォーマットは必ず本製品で行ってください。フォーマットすると既に記録されている画像データは全て消去されますのでご注意ください。

ファイル名 / ディレクトリ名を変更しない

パソコンでmicroSDメモ리카ードに保存されている画像データのファイル名やディレクトリ名を変更したり、カメラで記録された画像データ以外のファイルを書き込まないでください。カメラで認識できなくなり、機能に障害がでる恐れがあります。



- microSDメモ리카ードは精密機器ですので、無理な力を加えたり、乱暴に扱わないでください。また、microSDメモ리카ードが静電気を帯びていると、うまく認識されなかったり、カメラの誤作動など障害が起こる恐れがあります。
- microSDメモ리카ード使用中、誤作動や故障により記録内容が失われることがあります。記録されたデータの破損、消失につきましては、故障や損害の内容および原因にかかわらず、当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- microSDメモ리카ードに異常があると思われる場合は、フォーマットすることで正常に動作する場合があります。その際は、本製品のフォーマット機能をお試しください。(フォーマットすると、記録されている画像データは全て消失されますので、あらかじめご了承の上、フォーマットを行ってください。必要に応じてデータをパソコンやCDIにコピーしてからフォーマットしてください。)
- 電極部(金色の金属部分)が汚れてしまった場合は、乾いた清潔な布などで汚れを軽く拭き取ってください。



ご使用の前に

microSD / SDHCメモ리카ードのフォーマット

メモリをフォーマット(初期化)する機能です。



◆このカメラは、microSDメモ리카ードまたは内蔵メモリを選択し、フォーマットします。



- microSDメモ리카ードをこのカメラで使用する前には、必ずフォーマットを行ってください。
- フォーマットを行うとmicroSDメモ리카ードに記録された全てのデータが消去され、初期化されますのでご注意ください。
- microSDメモ리카ードのフォーマットは、必ず本製品のフォーマット機能で行ってください(パソコン上でフォーマットした場合、動作保証できません)。
- 保護設定を行ったファイルでも、フォーマットを実行すると消去されます。
- フォーマットする前に必要に応じてファイルをパソコンやCDにコピーしてください。

1. 電源ボタンを押して、カメラの電源をオンにします。
2. モードダイヤルを回し、設定モード **SET** に設定します。
3. ▲または ▼ ボタンを押して「フォーマット」を選択し、シャッターボタンを押してサブメニューに入ります。
4. ▲または ▼ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。

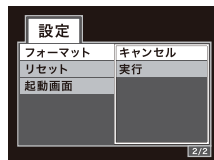
キャンセル : 初期化しません。

実行 : 初期化します。

3.



4.






ご使用前に

電源のオン／オフ

電源ボタンを2秒間長押しすると、カメラの電源がオンになります。
再度電源ボタンを押すと、カメラの電源がオフになります。



- ◆一定時間以上カメラを使用しない時間が続くと、自動的にカメラの電源がオフになります。P.52「自動電源オフ」をご覧ください。
- ◆電池の残量が少なくなると、電池のアイコン()および「電池残量がありません」のメッセージが液晶モニタの左下に表示されます。その後、カメラは3秒後に自動的にオフになります。

3M

「電池残量  がありません」



00060



ご使用前に

日付と時刻の設定

カメラをご使用前に、日付と時刻の設定を行います。

1. 電源ボタンを押して、カメラの電源をオンにします。
2. モードダイヤルを回し、設定モード **SET** に設定します。
3. ▲ または ▼ ボタンを押して「日付設定」を選択し、シャッターボタンを押してサブメニューに入ります。
4. ▲ または ▼ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。

オフ : 日付設定をせずにメニュー画面に戻ります。

設定 : 日付の設定を行います。

「設定」を選択した場合

5. ▲ または ▼ ボタンを押して、日付の表示順を選択します。

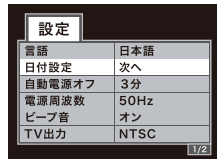
YYYY/MM/DD : 年/月/日

DD/MM/YYYY : 日/月/年

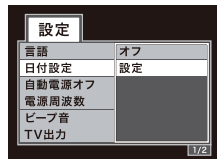
MM/DD/YYYY : 月/日/年

6. ◀ または ▶ ボタンを押して項目を移動し、▲ または ▼ ボタンを押して数値を調整します。
選択され変更可能な項目は緑色地に白文字です。
7. シャッターボタンを押して確定します。

3.



4.



5.



◆日付/時刻は、初期設定に戻してもリセットされません。



ご使用の前に

言語の設定 (初期設定 : 日本語)

カメラをご使用の前に、言語の設定を行います。

1. 電源ボタンを押して、カメラの電源をオンにします。
2. モードダイヤルを回し、設定モード **SET** に設定します。
3. ▲ または ▼ ボタンを押して「言語」を選択し、シャッターボタンを押してサブメニューに入ります。
4. ▲ または ▼ ボタンを押して使用する言語を選択し、シャッターボタンを押して決定します。



◆言語は、初期設定に戻してもリセットされません。

3.

設定	
言語	日本語
日付設定	次へ
自動電源オフ	3分
電源周波数	50Hz
ピープ音	オン
TV出力	NTSC

4.

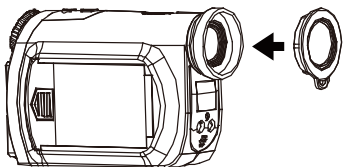
設定	
言語	日本語
日付設定	
自動電源オフ	
電源周波数	
ピープ音	
TV出力	



ご使用前に

IRカットフィルタの使用

日中の動画または静止画撮影ではフィルタを取り付け、撮影します。
下図を参考にしてフィルタを取り付けてください。



- ◆IR LEDランプを使用して夜間撮影する際は、IRカットフィルタを取り外してください。
夜間撮影についての詳細は、P.23「IR LEDライト」をご覧ください。

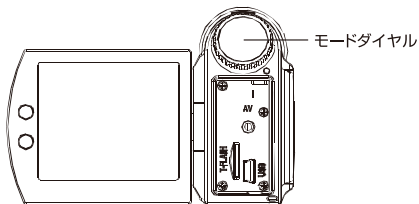


ご使用の前に

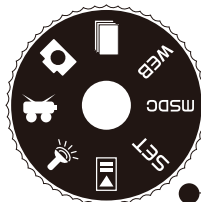
モードの変更

モードダイヤルを回し、モードを変更します。

	動画モード	動画を撮影します。
	静止画モード	静止画を撮影します。
	連写モード	0.5 秒間で 3 コマの連写撮影を行うことができます。
WEB	PC カメラモード	この機能は使用できません。
MSDC	マストレージモード	PC 接続時、メモリとして使用します。
SET	設定モード	カメラの様々な設定を行います。
	再生モード	撮影・録音したファイルを再生します。
	音声モード	音声を録音します。



〈モードダイヤル〉



● 青色LED


青色LEDの位置に合わせます。



動画モード

▶ 動画の撮影

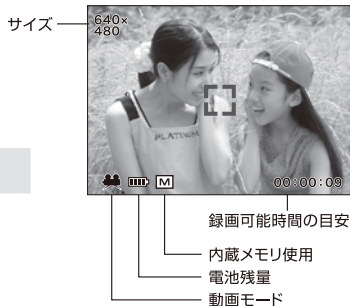
動画を撮影します。

1. 電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. モードダイヤルを回し、動画モード  にします。
3. シャッターボタンを押して録画を開始します。
4. 再度、シャッターボタンを押して録画を終了します。



◆ 動画1ファイルの最長時間は、2時間です。

3.



▶ 撮影距離(焦点距離)

本製品の撮影距離は、約0.7m ~ ∞ です。



正しい撮影距離で撮影されていない場合、ピントが合いませんのでご注意ください。



動画モード

LEDライト

撮影時の光量が不足している場合、カメラ本体に内蔵されているLEDライトを補助光として使用します。

1. モードダイヤルを回し、動画モード  に切り替えます。
2. ◀ ボタンを押して、LEDライトを点灯にします。
LEDライトが点灯すると、液晶モニタに  アイコンが表示されます。
再度 ◀ ボタンを押すと消灯します。
3. シャッターボタンを押して撮影します。





◆LEDライトの有効範囲は約0.7m ~ 1mです。

IR LEDライト

夜間撮影する場合、カメラ本体に内蔵されているIR LEDライトを光源として使用します。

この場合、白黒に近い画像になります。

1. モードダイヤルを回し、動画モード  に切り替えます。
2. ▶ ボタンを押して、IR LEDライトを点灯にします。
IR LEDライトが点灯すると、液晶モニタに  アイコンが表示されます。
再度 ▶ ボタンを押すとIR LEDライトは消灯します。
3. シャッターボタンを押して撮影します。



◆IR LEDライトの有効範囲は約0.7m ~ 2mです。


◆IR LEDライトをご使用の際は、レンズからIRカットフィルタを取り外してください。
(P.20「IRカットフィルタの使用」をご覧ください)



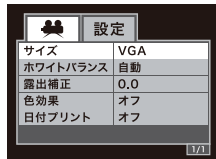
動画モード

▶ 動画メニュー

動画撮影の基本設定を行います。

1. 電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. モードダイヤルを回し、動画モード  に切り替えます。
3. メニューボタンを押し、動画メニューを表示します。
4. ▲ または ▼ ボタンを押してメニューを選択し、シャッターボタンを押してサブメニューに入ります。
5. ▲ または ▼ ボタンを押して項目を選択し、シャッターボタンを押して決定します。
6. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

3.



▶ 動画サイズ(サイズ) (初期設定：VGA)

撮影する動画サイズを設定します。

1. 動画メニューを表示します。(「動画メニュー」をご覧ください)
2. ▲ または ▼ ボタンを押して「サイズ」を選択し、シャッターボタンを押してサブメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。

VGA : 640 × 480

QVGA : 320 × 240

4. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

3.



- ◆ サイズが大きいほど高画質ですが、データ容量も大きくなり、同じ容量のmicroSDメモリーカードで撮影できる枚数が少なくなります。



動画モード

🔍 ホワイトバランス (初期設定：自動)

自動での色調が思わしくない場合、様々な被写体周辺の状況に応じてホワイトバランスを調整し、肉眼の色調に近づけます。

1. 動画メニューを表示します。(P.24「動画メニュー」をご覧ください)
2. ▲ または ▼ ボタンを押して「ホワイトバランス」を選択し、シャッターボタンを押してサブメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。

自動 : 自動で調整します。

晴天 : 屋外の晴天時の撮影に適しています。

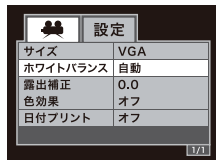
曇り : 屋外の曇天や木陰の撮影に適しています。

蛍光灯 : 蛍光灯下での撮影に適しています。

白熱灯 : 室内の白熱灯下での撮影に適しています。

4. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.



3.



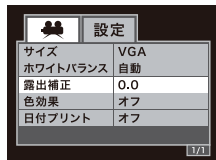
動画モード

Ⓜ 露出補正 (初期設定 : 0.0)

手動で露出値を補正する場合に使用します。被写体の撮影結果が暗く潰れる場合は+(明るく)補正し、明るすぎる場合には-(暗く)補正します。補正値は、-2.0~+2.0(0.5EVステップ)の間で調整することができます。

1. 動画メニューを表示します。(P.24「動画メニュー」をご覧ください)
2. ▲ または ▼ ボタンを押して「露出補正」を選択し、シャッターボタンを押してサブメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ ボタンを押して補正値を選択し、シャッターボタンを押して決定します。
4. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.



3.





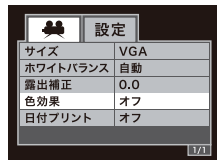
動画モード

色効果 (初期設定：オフ)

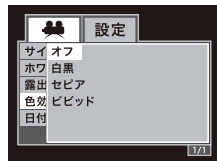
色効果を加えることで、印象の異なる写真にすることができます。

1. 動画メニューを表示します。(P.24「動画メニュー」をご覧ください)
2. ▲ または ▼ ボタンを押して「色効果」を選択し、シャッターボタンを押してサブメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。
 オフ : 効果を加えません。
 白黒 : 白黒にします。
 セピア : セピア画像にします。
 ビビッド : 色味をはっきりと強調します。
4. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.



3.





動画モード

📽 日付情報(初期設定：オフ)

動画ファイルに日付／日付と時間を記録できます。

1. 動画メニューを表示します。(P.24「動画メニュー」をご覧ください)
2. ▲ または ▼ ボタンを押して「日付情報」を選択し、シャッターボタンを押してサブメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。

オフ : 情報を入れません。

日付 : 日付情報を入れます。

日付／時刻 : 日付／時間情報を入れます。

4. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

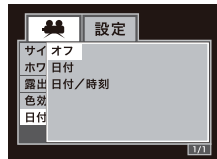


◆一度記録すると消すことはできませんのでご注意ください。

2.



3.







静止画モード

静止画の撮影

静止画を撮影します。

1. 電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. モードダイヤルを回し、静止画モード  に切り替えます。
3. シャッターボタンを押して撮影します。



◆被写体周辺の光量が不足している場合、シャッター速度が遅くなり、液晶モニタに手ぶれ警告アイコン  が表示されます。カメラをしっかりと構え、手ブレにご注意ください。三脚等の使用をおすすめします。

3.



撮影可能枚数の目安

microSDカード使用

電池残量

静止画モード

撮影距離(焦点距離)


P.22「撮影距離」をご覧ください。



静止画モード

連写撮影

0.5秒間で3コマの連写撮影を行うことができます。

1. モードダイヤルを回し、連写モード  にします。
2. シャッターボタンを1回押すと3コマの連写撮影をします。



◆シーンモードとの併用はできません。

LEDライト

P.23「LEDライト」をご覧の上、2. から操作を始めてください。

IR LEDライト


P.23「IR LEDライト」をご覧の上、2. から操作を始めてください。



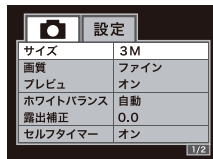
静止画モード

▶ 静止画メニュー

静止画撮影の基本設定を行います。

1. 電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. モードダイヤルを回し、静止画モード  に切り替えます。
3. メニューボタンを押し、静止画メニューを表示します。
4. ▲または ▼ ボタンを押してメニューを選択し、シャッターボタンを押してサブメニューに入ります。
5. ▲または ▼ ボタンを押して項目を選択し、シャッターボタンを押して決定します。
6. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

3.



▶▶ 静止画サイズ(サイズ) (初期設定：3M)

撮影する静止画サイズを変更します。

1. 静止画メニューを表示します。(「静止画メニュー」をご覧ください)
2. ▲または ▼ ボタンを押して「サイズ」を選択し、シャッターボタンを押してサブメニューに入ります。
3. ▲または ▼ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。

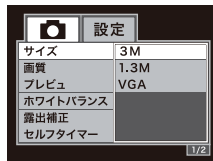
3M : 約300万画素

1.3M : 約130万画素

VGA : 約30万画素

4. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

3.



- ◆ サイズが大きいほど高画質ですが、データ容量も大きくなり、同じ容量のmicroSDメモリーカードで撮影できる枚数が少なくなります。
- ◆ VGAサイズは、e-mail等の添付に適しています。



静止画モード

画質 (初期設定：ファイン)

撮影する静止画の画質(圧縮率)を設定します。

1. 静止画メニューを表示します。(P.31「静止画メニュー」をご覧ください)
2. ▲または ▼ ボタンを押して「画質」を選択し、シャッターボタンを押してサブメニューに入ります。
3. ▲または ▼ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。

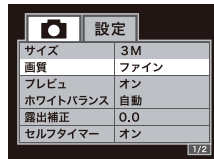
ファイン : 高画質
 標準 : 標準画質
 エコノミ : 低画質

4. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。



◆高画質なほど鮮明ですがデータ容量も大きくなり、同じ容量のmicroSDメモリーカードで撮影できる枚数が少なくなります。

2.



3.





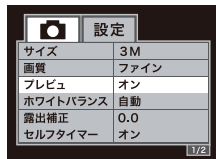
静止画モード

プレビュー (初期設定 : オン)

静止画の撮影直後、撮影した静止画を表示します。

1. 静止画メニューを表示します。(P.31「静止画メニュー」をご覧ください)
2. ▲ または ▼ ボタンを押して「プレビュー」を選択し、シャッターボタンを押してサブメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。
オン : 撮影した静止画を表示します。
オフ : 撮影した静止画を表示しません。
4. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.



3.





静止画モード

☞ ホワイトバランス

P.25「ホワイトバランス」をご覧の上、2. から操作を始めてください。

☞ 露出補正

P.26「露出補正」をご覧の上、2. から操作を始めてください。

☞ セルフタイマー (初期設定：オフ)

セルフタイマーを設定することができます。

1. 静止画メニューを表示します。(P.31「静止画メニュー」をご覧ください)
2. ▲ または ▼ ボタンを押して「セルフタイマー」を選択し、シャッターボタンを押して、サブメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。

オフ : セルフタイマ機能は無効です。

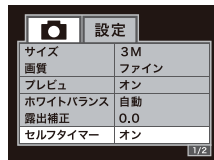
5秒 : シャッターボタンを押してから、約5秒後に撮影します。

10秒 : シャッターボタンを押してから、約10秒後に撮影します。

15秒 : シャッターボタンを押してから、約15秒後に撮影します。

4. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.



3.





静止画モード

シーンモード (初期設定：自動)

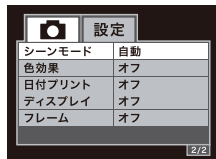
撮影状況に合わせたシーンを選択すると、カメラが自動的に設定を調整します。

1. 静止画メニューを表示します。(P.31「静止画メニュー」をご覧ください)
2. ▲ または ▼ ボタンを押して「シーンモード」を選択し、シャッターボタンを押して、サブメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。

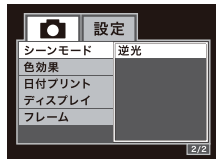
- 自動** : 自動設定で静止画を撮影します。
- 人物** : 人物(ポートレート)の撮影に適しています。
- 風景** : 距離を無限に設定し、風景をくっきりと鮮やかに撮影します。
- スポーツ** : 動きの速い被写体の撮影に適しています。
- 夜景** : 暗い場面での撮影に適しています。三脚等の使用をおすすめします。
- 逆光** : 逆光撮影での障害を低減します。

4. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.



3.





静止画モード

色効果

P.27「色効果」をご覧の上、2. から操作を始めてください。

日付プリント(初期設定：オフ)

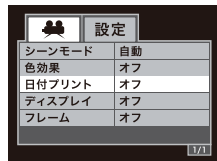
静止画ファイルに日付／日付と時間を記録してプリントアウト時に表示できます。

1. 静止画メニューを表示します。(P.31「静止画メニュー」をご覧ください)
2. ▲ または ▼ ボタンを押して「日付プリント」を選択し、シャッターボタンを押してサブメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。

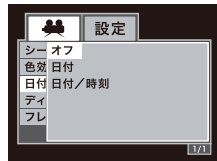
- オフ : 情報を入れません。
- 日付 : 日付情報を入れます。
- 日付／時刻 : 日付／時間情報を入れます。

4. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.



3.





静止画モード

📷 ディスプレイ (初期設定：オン)

液晶モニタをオン・オフします。

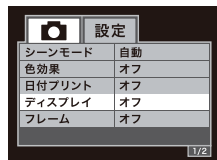
1. 静止画メニューを表示します。(P.31「静止画メニュー」をご覧ください)
2. ▲ または ▼ ボタンを押して「ディスプレイ」を選択し、シャッターボタンを押してサブメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。

オン : 液晶モニタをオンします。

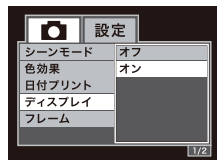
オフ : 液晶モニタをオフします。

4. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.



3.





静止画モード

📷 フレーム (初期設定：オフ)

静止画にフレームを加えて撮影することができます。

1. 静止画メニューを表示します。(P.31「静止画メニュー」をご覧ください)
2. ▲ または ▼ ボタンを押して「フレーム」を選択し、シャッターボタンを押してサブメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。

オフ：フレームを使用しません。

選択：9種類のフレームを選択することができます。

◀ または ▶ ボタンを押してフレームを選択してください。

4. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.



3.






音声モード

▶ 音声の録音

テープレコーダーのように音声を録音することができます。

1. 電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. モードダイヤルを回し、音声モード  に切り替えます。
3. シャッターボタンを押して録音を開始します。
4. 再度シャッターボタンを押して録音を終了します。

2.






再生モード

▶ 動画ファイルの再生

動画ファイルを液晶モニターで再生します。

1. 電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
 2. モードダイヤルを回し、再生モード  に切り替えます。
 3. ▲/▼ または ◀/▶ ボタンを押して動画ファイルを選択(赤枠を移動)し、シャッターボタンを押して一画面表示に切り替えます。
 4. シャッターボタンを押して、再生を開始します。
 5. 再生中にシャッターボタンを押すと、再生を一時停止することができます。
再度シャッターボタンを押すと、再生を再開します。
 6. 再生中に ▲ ボタンを押すごとに、動画ファイルの早送り速度(1倍→2倍→4倍→8倍→1倍)が変わります。
 7. メニューボタンを押して音量を調整します。P.49「音量(ボリューム)」をご覧ください。
 8. ▼ ボタンを押すとそのファイルの、再生を終了します。
 9. ◀ または ▶ ボタンを押して他のファイルを選択できます。
10. 再度サムネイル表示に切り替える場合は、ズームアウトボタンを押します。

4.






再生モード

▶ 静止画ファイルの再生

静止画ファイルを液晶モニターで再生します。

1. 電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. モードダイヤルを回し、再生モード  に切り替えます。
3. ▲/▼ または ◀/▶ ボタンを押して静止画ファイルを選択し、シャッターボタンを押して一画面表示に切り替えます。
4. 再度サムネイル表示に切り替える場合は、ズームアウトボタンを押します。

3.



▶▶ 再生ズーム

静止画ファイルの一画面表示中、画像を拡大表示することができます。

1. 静止画ファイルを一画面表示します。([「静止画ファイルの再生」をご覧ください])
2. ズームインボタンを押して拡大率を決定し、シャッターボタンを押します。
3. ▲/▼ または ◀/▶ ボタンを押して、表示範囲を移動します。
4. シャッターボタンを押して終了します。

3.






再生モード

🔊 音声ファイルの再生

音声ファイルを再生します。

1. 電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. モードダイヤルを回し、再生モード  に切り替えます。
3. ▲/▼ または ◀/▶ ボタンを押して音声ファイルを選択し、シャッターボタンを押して一画面表示に切り替えます。
4. シャッターボタンを押して、再生を開始します。
5. 再生中にシャッターボタンを押すと、再生を一時停止することができます。再度シャッターボタンを押すと、再生を再開します。
6. 音量の調整は、P.49「音量(ボリューム)」をご覧ください。
7. ▼ ボタンを押して、再生を終了します。

3.





再生モード

再生メニュー

再生モードの基本設定を行います。

1. 電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. モードダイヤルを回し、再生モード に切り替えます。
3. ▲/▼ または ◀/▶ ボタンを押してファイルを選択し、シャッターボタンを押して一画面表示します。
4. メニューボタンを押し、再生メニューを表示します。

4.



スライドショー (初期設定：3秒)

メモリに記録されているファイルを、一定の間隔で表示します。

1. 再生メニューを表示します。
2. ▲ または ▼ ボタンを押して「スライドショー」を選択し、シャッターボタンを押してサブメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。スライドショーを開始します。

3秒 : 3秒間隔で表示します。

5秒 : 5秒間隔で表示します。

10秒 : 10秒間隔で表示します。

4. 再度シャッターボタンを押すと、スライドショーを終了します。

2.



3.



◆動画ファイルは、最初のシーンが静止して表示されます。



再生モード

削除

不要なファイルを削除します。

1. 再生メニューを表示します。(P.43「再生メニュー」をご覧ください)
2. ▲ または ▼ ボタンを押して「削除」を選択し、シャッターボタンを押してサブメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。

一枚：選択されているファイルを削除します。

全て：全てのファイルを削除します。

選択：削除するファイルを選択し、削除します。

〈「一枚」を選択した場合〉

A-1. シャッターボタンを押します。

表示されていたファイル(画像等)が削除されます。
削除しますと元に戻りませんのでご注意ください。



◆この操作は一回のみ適用されます。

2.



A-1.



●次ページに続く



再生モード

〈「全て」を選択した場合〉

B-1. シャッターボタンを押します。

B-2. ▲ または ▼ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。

キャンセル : 全てのファイル(画像等)を削除しません。

実行 : 全てのファイル(画像等)を削除します。

全てのファイル(画像等)が削除されます。

削除しますと元に戻せませんのでご注意ください。

〈「選択」を選択した場合〉

C-1. サムネイル表示されます。

C-2. 赤枠を移動して削除するファイル(画像等)を選択します。

C-3. シャッターボタンを押し削除します。

削除しますと元に戻せませんのでご注意ください。

B-1.



B-2.



◆この操作は一回のみ適用されます。

C-1.



C-2.





再生モード

▶▶ DPOF

〈DPOFとは〉

DPOFは、DPOFをサポートするプリンタを使い、microSDメモ리카ードに保存されている静止画を直接プリントアウトしたり、写真店にプリントサービスを依頼する場合に手間を省くことができます。

1. 再生メニューを表示します。(P.43「再生メニュー」をご覧ください)
2. ▲ または ▼ ボタンを押して「DPOF」を選択し、シャッターボタンを押してサブメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。

〈「一枚」を選択した場合〉

- A-1. プリント設定が表示されます。
▲ または ▼ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押します。

実行 : DPOF設定を続けます。

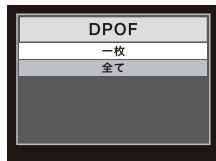
キャンセル : DPOF設定をしません。

- A-2. 「実行」を選択するとプリント枚数の指定画面が表示されます。

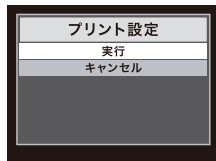
2.



3.



A-1.



●次ページに続く



再生モード

A-3. ▲ または ▼ ボタンを押して枚数を設定しシャッターボタンを押して決定します。
DPOF設定した画像は 1 が表示されます。数字は枚数です。

A-4. メニューボタンを押して再生メニュー画面に戻ります。



- ◆DPOF設定を解除する場合は、枚数を0(ゼロ)に再設定してください。
- ◆DPOF設定するには、静止画が保存されたmicroSDメモリーカードの装着が必要です。
- ◆DPOF設定は、静止画だけの機能です。

〈「全て」を選択した場合〉

B-1. プリント設定が表示されます。

▲ または ▼ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押します。

実行 : 全ての静止画にDPOF設定します。

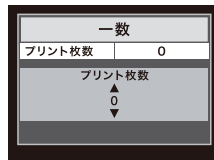
キャンセル : 全ての静止画にDPOF設定しません。

B-2. 「実行」を選択するとプリント枚数の指定画面が表示されます。

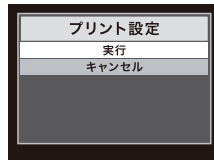
B-3. ▲ または ▼ ボタンを押して枚数を設定し、シャッターボタンを押して決定します。

B-4. メニューボタンを押すと再生メニュー画面に戻ります。

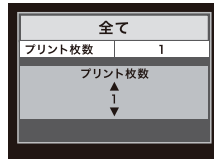
A-3.



B-1.



A-3.





再生モード

カードにコピー

内蔵メモリに保存されたファイルを、microSDメモ리카ードにコピーすることができます。

1. 再生メニューを表示します。(P.43「再生メニュー」をご覧ください)
2. ▲ または ▼ ボタンを押して「カードにコピー」を選択し、シャッターボタンを押してサブメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。

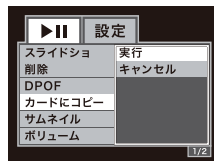
実行 : カードにコピーします。

キャンセル : カードにコピーしません。

2.



3.



◆この機能を使用するには、内蔵メモリにファイル(画像等)が記録されていてmicroSDメモ리카ードの装着が必要です。

サムネイル表示

サムネイル表示で素早くファイルを選択することができます。

1. 再生メニューを表示します。(P.43「再生メニュー」をご覧ください)
2. ▲ または ▼ ボタンを押して「サムネイル」を選択し、シャッターボタンを押します。
一画面表示中にズームアウトボタンを押すとサムネイル表示になります。

2.





再生モード

▶▶ 音量(ボリューム) (初期設定：4)

音量を調節します。

1. 再生メニューを表示します。(P.43「再生メニュー」をご覧ください)
2. ▲ または ▼ ボタンを押して「ボリューム」を選択し、シャッターボタンを押してサブメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ ボタンを押して1～8のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。
4. メニューボタンを押すと、元の画面に戻ります。



◆音量は、リセットしても初期設定に戻りません。

2.

▶▶ 設定	
スライドショー	3秒
削除	次へ
DPOF	次へ
カードにコピー	次へ
サムネイル	実行
ボリューム	4

3.

▶▶ 設定	
スライドショー	1
削除	2
DPOF	3
カードにコピー	4
サムネイル	5
ボリューム	



再生モード

▶▶ 起動画面 (初期設定：影像1)

起動画面を設定します。

1. 再生モードから起動画面にしたい静止画を選択し、一画面表示します。
2. 再生メニューを表示します。(P.43「再生メニュー」をご覧ください)
3. ▲ または ▼ ボタンを押して「起動画面」を選択し、シャッターボタンを押してサブメニューに入ります。
4. ▲ または ▼ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。

影像1 : 任意の静止画を設定します。

影像2 : 任意の静止画を設定します。

影像3 : 任意の静止画を設定します。

キャンセル : 起動画面を設定しません。

5. メニューボタンを押すと、元の画面に戻ります。

3.



4.



◆ご希望の起動画面を設定する方法はP.57「起動画面」をご覧ください。



設定モード

設定メニュー

カメラの様々な基本設定を行います。

1. 電源ボタンを押して、カメラの電源をオンにします。
2. モードダイヤルを回し、設定モード **SET** に設定します。
3. ▲ または ▼ ボタンを押してメニューを選択し、シャッターボタンを押してサブメニューに入ります。
4. ▲ または ▼ ボタンを押して項目を選択し、シャッターボタンを押して決定します。

3.

設定	
言語	日本語
日付設定	次へ
自動電源オフ	3分
電源周波数	60Hz
ビープ音	オン
TV出力	NTSC

言語

P.19「言語の設定」をご覧ください。

日付設定

P.18「日付と時刻の設定」をご覧ください。



設定モード

ⓧ 自動電源オフ (初期設定 : 3分)

カメラを操作しない時間が一定以上続くと、電力節約のためカメラの電源が自動的にオフになります。

1. モードダイヤルを回し、設定モード **SET** に設定します。
2. ▲ または ▼ ボタンを押して「自動電源オフ」を選択し、シャッターボタンを押してサブメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。

オフ : 自動電源オフ機能を無効にします。

1分 : 約1分間操作しないと、電源が自動的にオフになります。

3分 : 約3分間操作しないと、電源が自動的にオフになります。

5分 : 約5分間操作しないと、電源が自動的にオフになります。

2.

設定	
言語	日本語
日付設定	次へ
自動電源オフ	3分
電源周波数	60Hz
ビープ音	オン
TV出力	NTSC

3.

設定	
言語	オフ
日付設定	1分
自動電源オフ	3分
電源周波数	5分
ビープ音	
TV出力	



設定モード

電源周波数 (初期設定 : 60Hz)

撮影の地域によって正しい電源周波数を選択し、蛍光灯のチラツキを抑制します。

1. モードダイヤルを回し、設定モード **SET** に設定します。
2. ▲ または ▼ ボタンを押して「電源周波数」を選択し、シャッターボタンを押してサブメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。

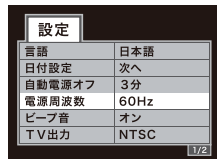
50Hz : 電源周波数を50Hzに設定します。

60Hz : 電源周波数を60Hzに設定します。



◆日本では50Hzと60Hzの交流電源が使われています。静岡県の富士川から新潟県の糸魚川あたりを境に東側が50Hz、西側が60Hzです。

2.



3.





設定モード

🔊 ビープ音 (初期設定：オン)

カメラの操作音の「オン」と「オフ」を切り替えます。

1. モードダイヤルを回し、設定モード **SET** に設定します。
2. ▲ または ▼ ボタンを押して「ビープ音」を選択し、シャッターボタンを押してサブメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。

オン：ビープ音を有効にします。

オフ：ビープ音を無効にします。



◆ビープ音をオフに設定するとシャッター音もオフになります。

2.

設定	
言語	日本語
日付設定	次へ
自動電源オフ	3分
電源周波数	60Hz
ビープ音	オン
TV出力	NTSC

3.

設定	
言語	オン
日付設定	オフ
自動電源オフ	
電源周波数	
ビープ音	
TV出力	



設定モード

TV出力 (初期設定 : NTSC)

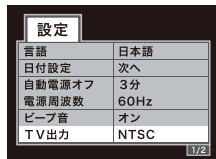
ビデオ出力信号をご使用の国・地域に合わせて切り替えます。

1. モードダイヤルを回し、設定モード **SET** に設定します。
2. ▲ または ▼ ボタンを押して「TV出力」を選択し、シャッターボタンを押してサブメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。

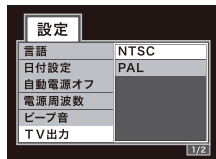
NTSC : 日本・米国・カナダ・台湾

PAL : ヨーロッパとアジア(日本・台湾を除く)

2.



3.



◆NTSC(日本国内)のテレビに「PAL」出力した場合、テレビ画面がバラバラ流れたり、白黒になったりします。

◆再生時のテレビ出力方法を選択します。撮影時の国・地域ではありません。



設定モード

☞ フォーマット

P.16「microSD／SDHCメモ리카ードのフォーマット」をご覧ください。

☞ リセット(初期設定に戻す)

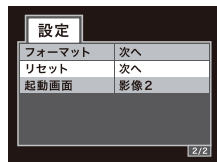
カメラの設定を、工場出荷時の状態に戻します。

1. モードダイヤルを回し、設定モード **SET** に設定します。
2. ▲ または ▼ ボタンを押して「リセット」を選択し、シャッターボタンを押してサブメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。

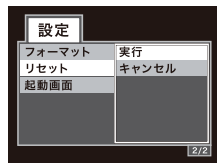
実行 : 初期設定に戻します。

キャンセル : 初期設定に戻しません。

2.



3.



◆ 日付／時刻・言語・音量は、リセットしても初期設定に戻りません。



設定モード

▶▶ 起動画面(初期設定：初期値)

起動画面を設定します。

1. モードダイヤルを回し、設定モード **SET** に設定します。
2. ▲ または ▼ ボタンを押して「起動画面」を選択し、シャッターボタンを押してサブメニューに入ります。
3. ▲ または ▼ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、シャッターボタンを押して決定します。

初期値：初期設定(工場出荷時の設定)

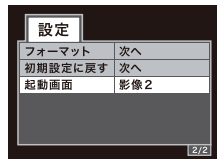
影像1：任意の画像を設定します。

影像2：任意の画像を設定します。

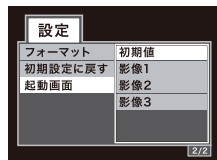
影像3：任意の画像を設定します。

影像の1、2、3はP.50「起動画面」で設定してください。

2.



3.





静止画プリント

VS-FUN IRには、DSP(ダイレクトプリント)機能がありません。

📷 プリント

📷 カメラ店等(お店プリント)でプリントする場合

microSD/SDHCメモ리카ードをご持参ください。

あらかじめプリントする静止画のフォルダ番号、ファイル番号と枚数をメモしてください。

(P.41「静止画ファイルの再生」をご覧ください。)

DPOF設定してプリントする方法もあります。(P.46「DPOF」をご覧ください。)



◆パソコンを使用してCD-ROM等にコピーしてプリントを依頼する方法もあります。

◆CD-ROM等に保存してからmicroSD/SDHCメモ리카ードをフォーマットして再使用できます。

📷 プリンタ(自宅プリント)を使用してプリントする場合

1. カメラとパソコンを付属のUSB-PC接続ケーブルで接続します。(P.60「パソコンへ接続する」をご覧ください。)

2. 静止画をパソコンに取り込みます。

3. パソコンからプリントします。



◆microSD/SDHCメモ리카ードスロットのあるプリンタでは、直接microSD/SDHCメモ리카ードを挿入してプリントできます。

◆お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。



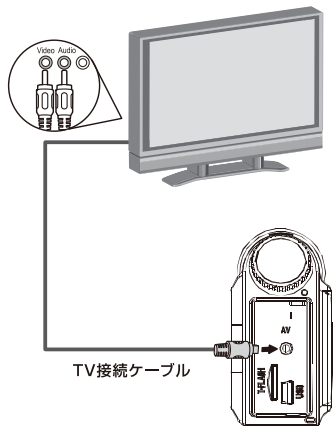
テレビとの接続

▶ テレビへ接続する

カメラとテレビを付属のTV接続ケーブルで接続して、テレビで動画・静止画を再生できます。

あらかじめテレビ方式(TV出力)をお使いのテレビに合わせてください。P.55「TV出力」をご覧ください。

1. 付属のTV接続ケーブルをカメラのAV出力端子に接続します。
もう一方の端子のうち、黄色い端子をテレビの映像入力に接続し、赤色の端子をテレビの音声入力端子に接続します。
2. テレビの電源を入れ、入力切換をビデオ入力モードにします。
3. カメラの電源を入れ、再生モードにします。
カメラの液晶モニタは自動的にオフになります。
4. 動画および静止画の再生方法は、液晶モニタ使用時と同様です。
5. 終了する時は、カメラの電源をオフにして、次にテレビの電源をオフにしてからTV接続ケーブルを外します。



◆入力端子の場所は、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

◆NTSC(日本国内)のテレビに「PAL」出力した場合、テレビ画面が白黒画像になったり、バラバラ流れます。

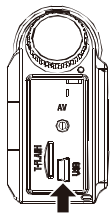


パソコンとの接続

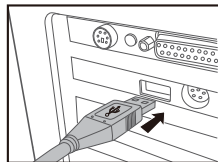
パソコンへ接続する

カメラとパソコンを接続し、ファイルをパソコンに取り込みます。
モードダイヤルを「MSDC」に設定します。

1. パソコンとカメラの電源をオンします。付属のUSB-PC接続ケーブルのUSB端子(大きい方)をパソコンに接続します。
2. 付属のUSB-PC接続ケーブルのミニUSB端子(小さい方)をカメラに接続します。初めてパソコンにカメラを接続すると「新しいハードウェアが見つかりました」と小さく表示され、しばらくすると「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備が出来ました」と小さく表示されます。
3. カメラの内蔵メモリとmicroSDメモ리카ードのファイルが、リムーバブルディスクとして表示されます。
4. ファイルは「スタート」→「マイコンピュータ」→「リムーバブルディスク」→「DCIM」→「100DSCIM」にあります。
5. 終了する時は、各OSに適した方法で安全に付属のUSB-PC接続ケーブルを外してください。



USB-PC接続ケーブル



◆お使いのパソコンのOSにより表示は異なります。

転送時のご注意

画像をパソコンに取り込む際には、以下の注意事項を必ず守ってください。



- [リムーバブルディスク]からコピーしている際(画像取り込み時)は、USB-PC接続ケーブル、microSDメモリーカードを絶対に抜かないでください。内蔵メモリ、microSDメモリーカードが破損する恐れがあります。
- [リムーバブルディスク]内にあるフォルダ及びファイルの名前を変更しないでください。
- [リムーバブルディスク]内にパソコンからデータなどをコピーしないでください。カメラの動作が不安定になる原因になります。
- [リムーバブルディスク]をパソコンでフォーマットしないでください。
- [DCIM]フォルダ内にあるファイルデータは、カメラ内に保存されているファイルデータを表示しています。このフォルダにあるデータを削除してしまうと、カメラ内の画像が消去されてしまいますのでご注意ください。



PCカメラモード

PCカメラモード

この機能は使えません。
あらかじめご了承ください。



マストレージモード

マストレージ(大容量記憶)モード

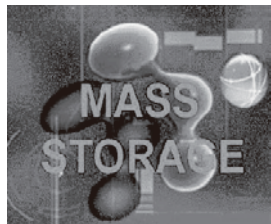
モードダイヤルを回し、マストレージモード **mSDC** に切り替えます。

デジタルカメラを付属のUSB-PC接続ケーブルでご使用のコンピュータに接続します。

マストレージモードでは、microSDカード使用のデジタルカメラをカードリーダーとして使用することができます。

デジタルカメラをコンピュータに接続することで、Windowsユーザーインターフェイスと互換することができます。

動画ファイルまたは静止画ファイルは、PCインターフェイス上の通常のファイルと同じようにコピー、移動または削除することができます。





付属アプリケーション

ソフトウェアのインストール

カメラをコンピュータに接続する前に、
全てのソフトウェアをインストールしてください。

1. 付属CD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットします。
2. 自動的に「言語」選択画面が表示されます。自動的に立ち上がらない場合は、「スタート」→「マイコンピュータ」の順にクリックし、CD-ROMドライブをダブルクリックしてください。
日本語等を選択し「OK」をクリックします。
3. 「Software Suite用のInstall Shield Wizardへようこそ」が表示されます。「次へ」をクリックします。
4. 「使用許諾契約」が表示されます。内容を確認後、同意する場合は「はい」をクリックします。
5. 「インストール先の選択」が表示されます。
確認後「次へ」をクリックします。
6. 「コンポーネントの選択」が表示されます。
確認後「次へ」をクリックします。
7. 「プログラム フォルダの選択」が表示されます。
確認後「次へ」をクリックします。インストールが開始します。
8. 「Install Shield Wizardの完了」が表示されます。
9. お使いのパソコンに「Direct X」がインストールされていない場合「Direct Xをインストールする」にチェックしたまま「完了」をクリックしてください。
10. 「Direct Xセットアップの開始」が表示されます。
内容を確認後、追加使用許諾契約書に同意する場合「同意します」をクリックしてから、「次へ」をクリックします。
11. 「Direct Xセットアップ」を表示されます。「次へ」をクリックします。
12. 「インストールの完了」が表示されます。
「完了」をクリックします。
13. パソコンを再起動して有効にします。





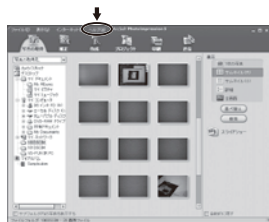
付属アプリケーション

▶ 付属のソフトウェア

「スタート」→「すべてのプログラム」→「ArcSoft Software Suite」の順にクリックして「Photo Impression 5」または「Video Impression 2」をクリックしてください。

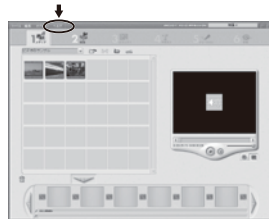
▶ Photo Impression 5

静止画の再生、簡単な補正をするアプリケーションソフトウェアです。
使用方法は、ヘルプをご覧ください。



▶ Video Impression 2

動画を再生、簡単な編集をするアプリケーションソフトウェアです。
使用方法は、ヘルプをご覧ください。





トラブルシューティング

📌 こんなときは

症状	原因	対策
電源が入らない。	電池の挿入方向は間違っていますか？	電池の+ -を確認し、正しい方向で挿入してください。(P.12 参照)
	電池残量は充分ですか？	新しいアルカリ乾電池に交換してください。(P.12 参照)
電池またはカメラが熱を持っている。	カメラの連続使用によるもので、異常ではありません。	
シャッターボタンを押しても動画・静止画が撮れない。	シャッターボタンが完全に押されていますか？	シャッターボタンを完全に押し込んでください。
	メモ리카ードの残量は充分ですか？	新しいメモ리카ードを使用するか、不要なファイルを削除してください。(P.44 参照)
動画・静止画が撮れない。	メモ리카ードの残量は充分ですか？	新しいメモ리카ードを使用するか、不要なファイルを削除してください。(P.44 参照)
	メモ리카ードは正しくフォーマットされていますか？	正しくフォーマットしても改善しない場合、メモ리카ードが壊れている可能性があります。新しいメモ리카ードをご使用ください。
ピントが合わない。	レンズが汚れていませんか？	レンズペーパーや柔らかく乾いた布でレンズを拭いてください。
	正しい撮影距離で撮影していますか？	正しい撮影距離で撮影してください。
ファイルをダウンロードできない。	ハードディスクの空き容量は充分ですか？	ハードディスクの容量が充分かどうかご確認ください。



記録可能時間／枚数時間の目安

▶ 動画の記録可能時間

動画サイズ	内蔵メモリ	1GB	2GB	4GB
VGA	4分10秒	33分30秒	1時間7分	2時間14分
QVGA	4分55秒	39分30秒	1時間30分	3時間

▶ 静止画の記録可能枚数

静止画サイズ	画質	内蔵メモリ	1GB	2GB	4GB
3M (約30万画素)	ファイン	285枚	2338枚	4676枚	9352枚
	標準	427枚	3499枚	6998枚	13996枚
	エコノミ	674枚	5522枚	11044枚	22088枚



- ◆撮影の状況・被写体によって記録されるファイルサイズが一定でないため、記録可能時間／枚数に差が出ます。上記表は目安としてご参考下さい。
- ◆記録可能時間／枚数に達する前に、電池残量がなくなる場合があります。



仕様

製品仕様

イメージセンサ	1/6型 CMOSセンサ
総画素数	320万画素
有効画素数	314万画素(静止画時)
レンズ	f=3.6mm F3.0
デジタルズーム	4倍
撮影距離	0.7m ~ ∞
液晶モニタ	1.5型 TFT液晶モニタ
内蔵メモリ	128MB
外部メモ리카ード	microSDメモ리카ード 128MB ~ 2GB microSDHCメモ리카ード 4GB
ファイル形式	動画: MJPEG(AVI) 静止画: JPEG
動画サイズ	VGA (640 × 480) 20fps、QVGA (320 × 240) 30fps
静止画サイズ	3M、1.3M、VGA
音声形式	WAV
シャッタースピード	1/2048秒 ~ 1/8秒
LEDライト	モード: オン、オフ 有効範囲: 約0.7m ~ 1m
IR LEDライト	モード: オン、オフ 有効範囲: 約0.7m ~ 2m
電源	単3形アルカリ乾電池 2本
寸法(幅×高さ×奥行)	約103 × 65 × 34 (mm)
重量	約110g(付属品を除く)



必要システム

以下の条件を満たすパソコンが必要となります。

- 下記OSがプリインストールされたパソコン
- USBインターフェース(USB 1.1以上)を標準装備したパソコン

	Windows 対応 OS
	Windows 2000 (SP4) / XP (SP2) / Vista (32bit)
CPU	Pentium 166 MHz 以上
メモリ	64MB 以上
ハードディスク	200MB 以上の空き容量
ドライブ	CD-ROM 必須
インターフェース	インターフェース USB1.1

動作保証について

- 動作環境を満たすPC中でも、一部機種の設定、構成により正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 各OSからアップグレードしたパソコンでは動作保証致しません。
- USBハブや拡張USBボードに接続した状態での使用、自作機および改造を加えたパソコンについては動作保証いたしません。